

各 位

2017年6月23日  
SBIホールディングス株式会社  
photonamic GmbH & Co. KG

**米国FDAが、脳腫瘍の一種である悪性神経膠腫の摘出術中に使用する  
フォトナミック社が開発した造影剤を承認**

当社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）の子会社で、主に欧州で5-アミノレブリン酸（ALA）（※）を利用した医薬品開発事業を手掛けるphotonamic GmbH & Co. KG（本社：Wedel, Germany、以下「フォトナミック社」）は、脳腫瘍の一種である悪性神経膠腫の摘出術中に使用する造影剤（以下「本剤」）が米国食品医薬品局（FDA）に承認されましたのでお知らせいたします。

本剤は、悪性神経膠腫の摘出術中における腫瘍組織の可視化を目的とした光線力学的診断（Photodynamic Diagnosis：PDD）のための経口体内診断薬です。本剤を腫瘍摘出術の2～4時間前に経口投与し、術中に患部に特殊な光を当てることで腫瘍部位を赤く光らせ、正常組織との識別を容易にすることにおいて有効性と安全性が確認されました。

なお本剤は製品名「Gliolan」として2007年に欧州医薬品庁（EMA）の承認を受け、現在、フォトナミック社の販売パートナーを通じてドイツ、イギリス等欧州の25以上の国々で販売されています。また、当社グループ傘下でALA関連事業を手掛ける製薬会社SBIファーマ株式会社も2013年より製品名「アラグリオ®内用剤1.5g」として日本で販売しています。

フォトナミック社は同製剤を世界の各地域の事業パートナーを通じて販売しており、引き続き販売地域の拡大に向けて準備を進めてまいります。

SBIグループではアンメットメディカルニーズに応えるALAを利用した医薬品を世界中の一人でも多くの方に提供できるよう、今後もALAの様々な可能性を追求し、医薬品等の研究開発に努めてまいります。

（※）5-アミノレブリン酸（ALA）とは：体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸。ヘムやシトクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与する機能分子の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALAは、焼酎粕や赤ワイン、高麗人参等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

以上

\*\*\*\*\*  
本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126